

令和5年 第6回米原市定例教育委員会

日 時：令和5年6月26日（月） 午後3時30分開会
場 所：米原市役所 コンベンションホール

(出席者)

教 育 長：馬淵教育長
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員
教 育 部：口分田部長
教 育 総 務 課：梶田課長
学 校 教 育 課：北川課長
生 涯 学 習 課：平山課長
図 書 館：梶川館長
学 校 給 食 課：花部課長
書 記：奥村、辻村

(欠席者)

スポーツ推進課：高木次長

1 開 会

2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。まず1つ目としまして、小中学校の校長先生の人事評価に係る面談をしました。1年間の学校管理や教育の目標をお聞きして、今年度の「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」の構想図を説明していただきました。例えば、かつては新任の校長先生は、4月当初の職員会議に追われて、そのうち校外学習があって、その事前準備をしているうちに夏休みが来てというような方もおられたかもしれませんが、今回このビジュアル構想図を練ることによって、1年間の学校行事やそれぞれの行事の目的を確認し、そこに自分の経営に関わるアイデアを溶かし込んでいくことができると思っています。例えば1枚目の柏原小学校は、学校教育目標を変えて、そしてビジュアル図も相当変わっています。このように面談をしている中で、それぞれの校長先生が非常に頼もしく見えたところです。新任の校長先生も何人かおられますが、そう感じさせず、堂々と学校経営観を語っておられたので非常に嬉しく思いました。2つ目は、教育センターが8月25日にコンベンションホールで、Maibara City English Oratorical Performance Meet という米原市の英語弁論大会を行います。米原市は県内でも非常にALT、MGTなどのネイティブスピーカーの在籍率が高く、小学校では文部科学省の教育課

程特例校として小学校1年生から英語を勉強しています。時間数も他の県内の小学校よりも多いです。県内では米原市の小学校9校だけが英語の学習をしていて、ネイティブスピーカーもたくさんいて、その中であって、その成果を発表する場がありませんでした。弁論大会と言っていますが、小学生は短い詩を暗唱したり、チャンツと言うリズムのある英語を言ったりしてくれると思います。今のところ小学生は4人、中学生は16人参加予定です。中学生の場合は、国の高円宮杯という弁論大会があり、県大会やブロック大会などを勝ち抜いて最後に東京へ行って競い合います。暗唱部門と弁論部門があり、それに出てもらおう生徒を学校から出すのが結構精一杯なところもありましたが、今回は中学校6校で16人ということで、5人ぐらい出してくれる中学校もあります。また、無理やり出すのではなく子どもたちが自分で手を挙げているということを非常に嬉しく思っています。3つ目ですが、皆さん御存じのとおり、今年の4月1日にこども基本法が施行されて子ども施策が今後充実されていくと思っています。その中で、子どもを守ったり、子どもの健全育成を支援したりという施策のほかに、子どもの意見の表明、それから意見の尊重という言葉もあります。やはり子どもたちに自分の意見を持たせ、表明させ、それを尊重していくことが大事であるということが読み取れます。11月3日と4日に滋賀県人権教育研究大会米原大会がありますので、そこでの米原市の取組発表の中で、中学生の意見表明や取組発表も交えてやっていければと思います。こども基本法の柱の1つを人権教育研究大会で発表するということが大事だと思います。同時に、日頃の教育の中でも、子どもたちの自主的な活動を活発にする中で、子どもに意見表明をさせて、それを尊重して教育を進めていきたいと思っています。先ほどいじめの専門委員会があり、そこでも話しましたが、やはりいじめをしっかりと防止していくためには、子どもたちがどう考えているかということが大事で、日頃から小学校低学年であってもいじめに関して子どもたちに意見を表明させていく。すでに中学校では行っていて、意見表明することによっていじめを防止していく。同時に、色んな意見表明がありますから、夢を語らせる、志を語らせる。そのために今どういう企画をするといいのか考えさせることが大事だと考えています。それを具体的に各学校の中でやっていければと考えているところです。以上、最初の挨拶とします。

3 会議録承認

令和5年第5回定例会議事録

4 所属長報告

(1) 教育総務課長

報告事項につきましては、6月6日の契約審査会において、米原小学校体育館外壁他改修工事ほか4件の審査いただきました。6月8日には米原小学校校舎照明改修工事ほか6件の、6月9日には米原中学校特別支援教室他改修工事監理業務の入札を執行しました。6月8日の入札におきまして、大原小学校トイレ改修工事(第1期工事)が入札不調となり、これに関連して、翌9日に執行を予定していました当該工事に係

る工事監理業務の入札は取りやめています。6月19日の契約審査会において双葉中学校グラウンド改修工事測量業務ほか1件を審査いただきました。6月26日は定期監査報告会が開かれました。

今後の予定につきましては、6月29日に米原小学校体育館外壁他改修工事ほか4件の入札を、7月13日には双葉中学校グラウンド改修工事測量業務ほか5件の入札を予定しています。7月21日は令和4年度の決算審査を受ける予定です。7月27日には第7回定例教育委員会を予定しています。

(2) 学校教育課長

報告事項につきましては、5月と6月にかけて行っておりました人事訪問が6月20日で終わりました。11月の滋賀県人権教育研究大会に向けまして5月23日に実行委員会全体会議を行い、市長も御出席いただきました。6月20日には滋賀県人権教育研究会、滋賀県教育委員会と主催3者会議を行いました。5月24日には第5地区第1回教科書採択協議会を開きました。5月29日にはいじめ対策連絡協議会を開催しています。6月1日に校園長会議、そして6月2日には3人のALTの退任式を行いました。こちらは伊吹山テレビでも放送されました。6月21日から校長面談をしました。6月26日にM-Sip(エムシップ)といういじめ問題専門委員会を開催しました。

今後の予定につきましては、7月4日に校園長会議を行います。7月12日に各学校の校務員の研修会を開催する予定です。7月14日には第5地区第2回教科書採択協議会を開きます。

教育センターの報告事項につきましては、5月30日に第1回の市の初任者研修を行いました。こちらは市の指導主事が指導しています。6月9日のTMT(チームまいばら先生の会)において、滋賀県人権教育研究大会に向けてのレポートの書き方という研修を滋賀県人権教育研究会と共同開催で行っています。6校19人の参加がありました。5月29日から6月2日までの5日間で米原市学力状況調査を行っています。これは小学校4年生が対象です。6月19日には市の教頭研修会ということで学校教育課のいじめ等対応支援員に講義を行っていただきました。学びっこ事業は5月22日から始まっています。

今後の予定につきましては、若手教職員研修ガイドランスのオンデマンド配信を行います。広報誌「はぐくみ」につきましては、第55号の発行を予定しています。令和5年度米原市教職員全員研修会につきましては、動画配信で8月18日に予定しています。教育センターの夏季研修講座の1次案内を添付しています。特定の研修を受けている者は必ず受講する講座もありますし、自主研修としても積極的に参加するように校長先生から話をしていただいています。8月25日にはEnglish Oratorical Performance Meetを予定しています。

(3) 生涯学習課長

報告事項につきましては、第18回米原市芸術展覧会表彰式を5月27日に行いまし

て、6月3日まで展覧会を開催しました。今年の来場者は1,203人、出品者は145人、そのうち市内の出品者が44人です。出品数は184点です。昨年度と比較しますと出品者および出品数が少ないように見えますが、今年新たに取り組みました無鑑査作品展でこれまでに賞を取られた14人の方から出品いただいた分も含めると大体作品数等は同等と認識しています。あと来場者が300人弱少ない点については、休館の関係で開催日数が4日間少なかったことと、6月1日と2日に大きな台風が接近していたということもありました。感触としては開催日に見ていると結構来られていたもので、昨年度と1日単位で平均を比べると、昨年度の1日当たりの来館者が124人に対して、今年度は1日当たり151人でした。集中的に開催した形になり、1日当たりの来場者は多かったという分析をしています。6月4日の第17回鎌刃城まつりは、コロナが規制緩和になり、参加者の方も待ち望んでおられ、盛大に開催しました。地元の中学生が受付のボランティアに来られ、その中学生たちは小学生の時にコミュニティスクールのふるさとウォークで実際現場に行かれた経験があり、その時にガイドやサポートをしてもらったことが非常に心に残っていて今回サポートする立場で関わられたということでした。コミュニティスクールの成果は短期では出ないかもしれませんが、長期的に見た場合、非常に大きな影響をもたらしていると感じました。6月21日には伊吹葉草の里文化センターで野村萬斎の狂言の公演がありました。平日の夜の公演でしたが、340席満員で地域住民の方も狂言を楽しまれたということです。野村萬斎の親子の競演もあつたりして非常に良かったと聞いています。

今後の予定につきましては、6月27日から大東中学校の職場体験2人を受け入れます。大東中学校から生涯学習課ということで、電車で近江長岡駅から来られることも大きな経験だと思います。心配もしながらですが、しっかり貴重な経験を積んでもらえるように頑張りたいと思います。その中の1人が、昨年ブラジルから日本に来られた方で、その時、この市役所で通訳の方にお世話になったことがきっかけで市役所の体験をしたいということです。7月3日からは双葉中学校の職場体験もあります。去年は自転車で全員が来られていましたが、坂田のエリアの方は電車で来られます。7月8日にルッチプラザで亀井聖矢さんのピアノリサイタルが行われ、すでに368席でソールドアウトしています。この亀井聖矢さんは、2年前に21歳で国際ピアノコンクールで世界一となられた方で、非常にタレント性も持っておられ、6月3日には土曜日に放送されている世界一受けたい授業という番組でスペシャルゲストとして出演されていました。その次の日曜日には、林修先生の日曜日の初耳学という番組でも特集で出演され、すごい人がルッチプラザに来たと言われるような人材で、技術も素晴らしいですし、こういう若い方を満員御礼で呼ばせていただけました。

(4) 図書館長

報告事項につきまして、山東図書館でも中学校の職場体験の受け入れをします。様々な図書館の仕事を体験していただけて、興味を持っていただければと思います。

今後の予定につきましては、小学1年生利用カードの配布について6月30日と書か

せていただいておりますが、既に配布済みです。例年行っている取組で、小学1年生の希望者に学校を通じて図書館の利用カードを送ることで夏休みの読書やイベント案内を配布して利用を促進するものです。「みーつけた！ぬいぐるみがかくれんぼ」と「るっち村ゆうれいやしきのなぞをとけ！」は2つとも新規で企画しているイベントです。ぬいぐるみがかくれんぼの方は近江図書館の館内に隠した5体のぬいぐるみを探してシールを集めるとお題が出てくるといふものです。るっち村の方は山東図書館の館内を回りながら、なぞ解きに挑戦してもらってゆうれいやしきをクリアできたらプレゼントがもらえるものです。少しでも図書館で楽しんでもらえればと思います。

(5) 学校給食課長

報告事項につきましては、5月9日から17日まで小学2年生を対象に「旬の野菜を食べよう」と題して食育の指導をしました。4年ぶりとなりましたグリーンピースのさやむき体験を通して野菜への関心が高まり、その日の給食では、苦手な野菜を食べる姿も見られたということです。5月15日からは4年生、6月1日からは3年生を対象に食育指導を行っています。その成果との感想を掲載しておりますので御覧ください。

今後の予定につきましては、7月3日から7日まで米原中学校から西部給食センターへ2人、7月7日から11日まで河南中学校から東部給食センターへ3人の方が職場体験に来ていただく予定です。食に関する指導ですが、7月には小学4年生を対象に、おやつを食べ方を考えようと題した指導を予定しています。7月19日が1学期の給食の最終日となっています。この給食最終日に、令和5年度の学校給食運営委員会と合わせて給食試食会を開催する予定です。

5 所属長に対する質疑

A委員 : 感想みたいなことですが、1つ目は、近くに住んでいる小学生がこの間修学旅行に行ってきたということで行先や様子を聞いていたら、それまでコロナで別の場所に行っていたのが、今までどおりに戻ったみたいで、楽しそうにお小遣いやお土産の話をしていました。それと道行く人々が少しずつマスクを外しておられる状況で、元どおりになることが良いか悪いは別にして、心の面も含めて少し落ちつきが世界的にあるのかなと感じています。2つ目は、生涯学習課の報告で芸術展覧会、野村萬斎の公演やルッチプラザのピアノリサイタルと地方の小さな市ですが、本物志向で呼んできていただいて、そういう努力をしていただいているありがたいと思っています。こういう時代ですので、コンサートにしる演劇にしるお笑いにしる全部ライブ配信があつて、自分でお金さえ払えばパソコンとスマホで見られる時代ですが、やはり本物は全然違いますので、そういう意味で今後もこういうような公演の努力をしていただけるとありがたいと思います。芸術展覧会と無鑑査作品展をのぞかせてもら

いまして、非常に楽しい時間を過ごさせてもらいました。先ほど報告がありました来場者数、出品者数が果たして米原市規模での人数として妥当かは私には分かりませんが、野村萬斎もコンサートも趣味趣向があって、自分でお金払って積極的に見に行くという性質のもので、それはそれでいいのですが、身近に芸術に触れる機会があるのに何かもったいないという気がします。前回、市の文化芸術の振興に関して予算化して奨励するという手段をとっていただいたので良かったという話をさせてもらいましたが、芸術展覧会で賞を取った作品の巡回みたいなことができないかという話を昨年もしました。作家の承諾や傷ついた場合の保険など色んなハードルがあると思いますが、1点でも2点でも学校の子どもたちの目に直接触れさせたいなど、自分で行かないなら作品がやってくる場があってもいいかなと思いました。これは実現するかどうかは別として、現在は公共施設の近江図書館で開催していますが、山東図書館の一角に飾ったり、銀行さんやJAさんに飾らせてもらったり、そういう文化に触れる機会を行政として作れるとよりいいと思いました。市の芸術展で優秀な賞を取られた作品を市の方で買い上げするような、例えば、それが買い上げか分かりませんが、現在近江図書館のロビーを入った左の方に絵があるような、そういう形で予算化する計画や市の所有物にして市役所の一角などに飾るような計画があるのか、現状どうなっているか教えていただきたいと思います。

事務局 : 図書館のロビー入った左手に飾ってあります作品については芸術協会の御厚意をいただいて、雰囲気作りも含め、文化に触れ合う機会として飾らせていただいている状況です。なかなか作品の買い上げというのは正直難しい部分がありますが、芸術展覧会でいい作品が多くあったことは承知しておりますし、今年開催しました無鑑査展の作品は出品者の協力をいただいて広く発表できる場が何か考えられそうな部分もあります。実はそうしたところに着目して伊吹山の関係の絵を飾りたいという相談を学校から受けているケースがあります。そういったものはニーズに沿って、実際今回も学校に飾らせていただいて、連携を取らせていただいていますので、御意見踏まえながら検討させていただきたいと思います。

A委員 : 無鑑査展で市内在住の方が2人か3人か入っておられるので、検討していただけるかもしれません。近江母の郷コミュニティハウスにギャラリーがあって時々個人で展覧会を行われていますが、公設ギャラリーはないので、例えばこの庁舎の三階のフリーのエリアの一角にガラス張りでもいいので何かできればそういう雰囲気作りにいいのかなと思いました。

B委員 : 学校の方では自粛されていた行事や活動が徐々に再開されるようになってきて活力が戻りつつあるかと思います。保護者の方や地域の方の出入りも多くなってくるので、防犯意識などを忘れないようにしたいと思いました。また、校内での怪我など、生徒指導上では想定外のことが起こり得ることも考えられるので、その対処の仕方を分かっていたとしても確認の場を持ってくださると助かると思いました。

C委員 : 学校教育課のいじめ等事案の報告の中で、事例に対しての指導の在り方などを分析していただいて、学校全体としてタイミングよく行かなくてはいけないということも報告してくださっているので、いろんな事案に対しても積極的に関わっていただけるとありがたいと思いました。からかいというのは、子どもたち同士では日常茶飯事ではないかなとは思っていますが、それでもその中に一言でも傷つけるような言葉とか、歌にしてからかうとか、そういうことに対して周りの教師や子どもたちがそれはだめだということを本人もですが周りの関わっている者も意識して感じられるような環境が大事だと思いました。学びっこ事業は希望者だと思いますが、必要とする児童に対しては、教師の方から働きかけがあるのでしょうか。3年生の学びの壁を乗り越えるために始まったと思いますが、その成果と課題も含めてやはり学習支援ということですので、希望者だけでなく先生の方から子どもたちに働きかけがあるのか教えてください。

事務局 : 先ほどの教育センターの資料に人数を書かせていただいており、54%ということで半分を超えてきてニーズは上がっていますが、本来参加してほしい子が全員参加しているかどうか聞いたところ、そうではないようです。どうしても漏れというか本当に参加してほしい子は来ていないという例はあります。その場合には、担任の方から個別に声かけをしたり、懇談会のときに保護者に誘ったりしながら個別のアプローチを続けているところです。実際に支援が必要な児童が何%という数字は出せませんが、その感覚は担任が一番分かっています。この子だということは分かっていますので、引き続き勧誘を続けていきたいと思っています。

C委員 : もう1つ、弁論大会や夏季研修講座は教職員の先生が対象ですが、もし弁論大会など見せていただく機会があれば、私たちも見たいと思います。教育委員として行かせてもらう機会がありましたらお願いしたいと思います。

教育長 : どうぞお越しく下さい。また案内を送らせていただきます。

D委員 : 最近身近なところでまたコロナにかかっている人をよく聞きます。この間はヘルパンギーナの警報が出ていましたが、現状はどうかと思います。それとこの間、宮城野部屋が合宿を長浜市でされて息長小学校へ、白鵬は来られなかったようですが弟子たちが来て、相撲を取らせてもらったりして非常に喜んでいました。米原市内では初めてですか。長浜では結構聞いていましたが、元々は近江町創業の近交運輸ですので米原市でもしていただいたのかと思いました。それと、鎌刃城まつりをやっておられますが、今年は短期間に2人亡くなっています。地元の人は危ないところを分かっていると思いますが、他府県から来られた方は標高も低いので侮って歩いてちょっとバランスを崩したりしておられます。登山道の管理はどこがすることになっているのかお尋ねしたいということと、もう1つ、いじめの事案で文章から感じたのは、家庭訪問か何かで先生に来てもらった時に色々と問題を言ったが取り上げてもらえなかったから校長先生に電話したという感じに受け取っています。時系列がはっきり分からないですが、前回、久々の家庭訪問だったという話で喜んでいと話しましたが、この家庭訪問において保護者は自分と先生と一対一で話したと思っています。先生からするといろんな生徒がいて、たくさんいますからなかなか集中できないと思いますので、家庭訪問の目的を明確にして、担任だけでは拾い上げられないものを組織で対応していくような仕組みが必要ではないかと思います。行った人が大したことないなと思ったらそのまま終わってしまいますし、だからと言ってみんなが家庭訪問できるわけではないですから、報告書の中で特に目的絞った中で重要項目を挙げていく。例えば、ネグレクトなど色んなこともありますし、いじめや子どもの命に関わる場所の重要項目だけはどんな小さなことでも報告するということができているのかどうか、もしできていなかったらそういうことが必要ではないかと思いました。

教育長 : コロナとヘルパンギーナの件で情報がありましたらお願いします。

事務局 : 本日詳細データを持ってきていないですが、ヘルパンギーナについて担当に聞いた話では県内で警報が出ていますが、基本的には南部地域、大津・草津方面に多いという話は聞いています。コロナにつきましても、感染者が出たら報告していただくことになっていて、確かにぼろぼろとは報告がありますが、昨年度まではそこから広がるということがありましたが、学校で広がるということは5月以降聞いていません。第9波の入口という報道も見ますが、今のところ市内の学校ではそれほど感染が

広がっているという認識はしていません。ただ、手指消毒と換気については徹底をしているところです。家庭訪問のことで御質問いただいた件ですが、わざわざ保護者の方に仕事を休んでいただいて時間を作っていただいている家庭訪問ですので、担任が得た情報につきましては、これはどうだろうと思うことについてはしっかり学年主任に報告を上げていく。そのために家庭訪問を行っていますが、できているかどうかについては、確認できていませんので、また機会を見つけましてしっかり伝えていきたいと思っています。

教育長 : 先ほどの相撲の件ですが、多分5年前に、その時は白鵬も来られて、校長先生と相撲を取っておられたりする写真が残っています。人が多く集まるので、今回は直前まで子どもにも伏せてありました。市長と私と部長で見に行かせていただきまして、3、4人で力士と土俵で戦って、非常に楽しい時間を過ごしたと思います。

D委員 : 孫も喜んでいました。自分から言ってきましたからよほど嬉しかったと思います。

教育長 : 一番大きい人は2mぐらいある北青鵬が来られていました。モンゴルからまた1人大きい方が入門されているようです。全員で十数人来られていました。息長小学校には相撲の歴史がありますので特権だと思います。鎌刃城の件についてお願いします。

事務局 : 鎌刃城まつりについては事故の教訓を踏まえて今回のイベントに当たりまして、地元団体の番場の歴史を知り明日を考える会と協力しながら、安全対策として危険箇所の案内表示と防護柵の再点検をした上で実施させていただきました。標高の低い山なので皆さん手軽に行けると思っておられますが、実際点検しますと危険な場所もありますので不意に行ってしまうと転落の危険性もあります。ただ今回、何回も安全面の対策を周知しました。ちょっと意識するだけで、変わることが分かりましたので問い合わせ等があった際も、この教訓を踏まえて注意喚起を徹底していきたいと思っています。

D委員 : 地元の方はよく分かっておられると思いますが、元々山城ですから敵が攻めにくいようにできているわけです。私も何回か行ったことがあります。林道に繋がるところも狭いところで、あのコースを通ると特に高齢者は危ないと思います。下のコース通っても狭いです。結構年配の方が団体で来られるので、表示もした方がいいと思いますのでよろしく

お願いします。

E委員 : 問題行動を報告していただいています。社会が大きく変化しているので学校で抱える問題も変化していると思います。先生の間で共有して問題解決していくということは大事なことで、それが報告で書かれてあるのですごく良いと思いました。あと鎌刃城の件ですが、受付のボランティアをされた中学生が小学生の時にふるさとウォークで行っていたことがきっかけで自分の地元の史跡に興味が出て、その時に教えていただいたから自分も協力したいということはすごく良いことだと思いますので、そういったふるさとウォークやコミュニティスクールの活動がいろんな形で出てくることはいいなと思いました。

6 議案審議

議案第 24 号 後援等名義使用承認（後援）について

【教育総務課】

○国際雑穀年 2023 大地とつながる食と生き方

— 以下、議案に基づき説明 —

A委員 : 近隣市での開催ではないという説明を聞きまして、後援しない方向で良いのではないのかと思いました。国際雑穀年という国際的にそういうことを推進している活動に参加しておられる団体ですし、自分たちのやり方でやっておられますので、私達がとやかく言う筋合いの問題ではもちろんないですが、野菜や雑穀を主食にして健康にということがずっと書いてあるので、それを教育委員会が後援するとなるとバランスの良い食事をとりましょうという指導を日常的にして実践している教育委員会がこれを推奨しますと捉えられかねないと思います。団体に対して何か言う筋合いは全くないですが、教育委員会というバランスの取れた栄養食品を食べましょうという教育をしている立場からすると不承認にした方が良いと思います。

D委員 : 私もそう思います。

E委員 : 私も一緒に、子どもの発育では魚も肉も野菜もいろんな食材をバランスよく取って体を作っていくのがいいですし、例えば我々のようにある程度年齢を重ねて、食が偏っているとかカロリーオーバーであればこういったことも1つの手だと思いますが、子どもたちの教育面まで考えても、学校給食で取り組まれている栄養バランスもやはり必要なものであると思います。考え方は人それぞれの自由ですが、それと後援とは別か

と思いますので不承認で良いかと思います。

教育長 : 昨年承認していない申請を今回は承認する理由がないと私も思いますので、この件につきましては、不承認とします。

不承認

議案第 25 号 米原市特別支援教育支援委員会委員の委嘱および任命について

【学校教育課】

(内容) 米原市特別支援教育支援委員会委員を別紙のとおり委嘱および任命したいので、米原市付属機関設置条例第 4 条第 2 項の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 26 号 後援等名義使用承認（後援）について

【生涯学習課】

○第 2 回おとのかげはしコンサート

— 以下、議案に基づき説明 —

B 委員 : 身近にクラシックを鑑賞出来る場を設けていただけなので非常にいいと思います。

原案承認

議案第 27 号 後援等名義使用承認（後援）について

【生涯学習課】

○千本ゑんま堂狂言 IN 木之本

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

7 報告事項

(1) 後援等名義使用承認（後援）について

○第 68 回滋賀県母親大会

【教育総務課】

○令和 5 年度米原市教育会・教育研究会 合同講演会（共催）

【学校教育課】

○湖北対流都市構想推進事業

創造体験フェス 2023 未来を変える、冒険に出かけよう

【学校教育課】

8 質疑応答

9 その他

(1) 令和5年第7回定例教育委員会の開催について

日 時：令和5年7月27日（木）午後2時00分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和5年第8回定例教育委員会の開催について

日 時：令和5年8月17日（木）午後3時30分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

10 閉 会

以上をもって令和5年第6回定例教育委員会を午後4時35分に終了した。